

第4次日野市学校教育基本構想

地域と共に歩み、安心できる学校づくりプロジェクト

令和7年度の経営の重点

『共に考え皆で承認する、地域の学校』 コミュニティ・スクールとしての深化

学校経営目標

「みんなに居場所や出番がある地域の学校」

<めざす教師像>

- ◆すべての“いのち”を守り、輝かせる教師 ◆児童一人一人を大切に温かい学級集団をつくる教師
- ◆地域と協働し、地域をステージとした、主体的で対話的な深い学びを創造できる教師
- ◆生活科・総合的な学習の時間や特別支援教育の専門性や技能を身に付けた教師

健やかな体

◎ 健康でたくましい子

「健康な体・行動力」「社会貢献力」

- ・運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わえる授業
- ・ロング昼休みによる運動機会の拡充
- ・運動習慣の定着のために、パワーアップタイム年3回、滝合ランニングの実施
- ・滝合ハンドブックの活用
- ・空手体験教室・がん教育(外部講師)6年
- ・食育の推進(地場野菜の積極活用、栄養士による栄養指導、児童が育てた米や野菜を通して健康な心身を育成)
- ・外部講師による体力運動能力向上

対話力の向上・充実

「未来を創造する子」



重点目標

豊かな心

◎ 思いやる心もち
共に生きる子
「認め合い」「自己肯定感」
「自己開示力」「対人力」
「豊かな感性・創造性」

☆ 集団の場の重視・充実

確かな学び

◎ 自ら考え学ぶ子

「課題発見解決力」「表現力・発信力」

- ・日野スタンダードを基盤にした授業
- ・一律一斉の学びから自分に合った多様な学びと 学び方の習得→主体的対話的で深い学びの実践化の継続
- ・1人1台端末を活用した「個別最適化の学び」と「協働的な学び」の実践
- ・指導と評価の一体化 評価規準の公表
- ・学校と放課後補習教室「たきあい塾」との連携(特に成績下位層をケア)
- ・「サマースクール」の実施(たきあい塾とのコラボ)
- ・SDGsカレンダーに基づく授業改善

集団性とかかわり合いの重視

- ・支持的な学級風土の醸成
- ・特別活動の活性化・学級活動の充実
- ・集会活動の充実と表出性の向上、表現の場の創出
- ・ソーシャルスキル(対人力)を高める授業
- ・集団規範の向上
- ・「考える道徳・議論する道徳」による規範意識の醸成
- ・外部講師を招いての道徳授業地区公開講座の実施
- ・学習規範を明示した学級経営
- ・学校のきまりの検討・徹底

不登校対策・いじめ防止総合対策強化

- ・家庭状況等の正確な把握(個人面談等)
- ・校内委員会を軸に担任・専科・ステップで連携して迅速かつ的確な対応(予防・対応・フォローアップ)
- ・生命尊重・人権意識の啓発
- ・「いのちの授業」全学年、年1回以上
- ・共に生きる人権教育(人権教育プログラム活用)「光の家」等と連携した指導、災害体験者から学ぶ教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室の実施

<学校>

- ・校内研究をベースに、対話的で豊かな学びを推進し、授業力向上
- ・年3回、生活科・総合的な学習の時間を専門とする外部講師を招聘
- ・スタートカリキュラム(幼保小連携)

<地域>

- ◎滝合小学運営協議会(CS)の活性化
- ・環境整備・活用(ヒートマップ・芝生等の整備、利活用)
- ・地域人材による学習支援、放課後補習教室「たきあい塾」
- ・「芝生イベント」の創出と運営
- ・安全安心 PTAや自主防災会との連携
- ・平山中地区3校コミュニティ連携

<家庭>

- ・学校 Web ページで学校を開く
- ・C4th Home&Schoolでの連絡体制
- ・個に応じた家庭学習の推進
- ・家庭・地域と、行事等について対話で検討